

## 江上 博之 議員(市・共産)からの質問への回答

### 質問テーマ：

### 自然環境の観点から、名古屋港で発生するしゅんせつ土砂をどうするか

#### 質問1 環境保全の観点から、しゅんせつ土砂を活用した実績はどうか？

##### 回答1

- ・ 名古屋港において、環境保全の観点からしゅんせつ土砂を活用した実績はございませんが、港内で発生するしゅんせつ土砂につきましては、環境影響評価を経て、港湾機能の拡張や産業立地等に必要な土地を造成するための用材として活用してきております。

#### 質問2 今後、しゅんせつ土砂を活用するために、検討はしているのか？

##### 回答2

- ・ 中部地方整備局においては、良好な港湾環境の形成の観点から、平成24年度から29年度まで、しゅんせつ土砂を一部活用した人工干潟の造成に関する実証実験を、ポートアイランドの東側で行い、本組合も、実験を企画・検証する検討委員会に参画しました。

(実験施設) 規模90m×30m



##### (結果)

- ・ しゅんせつ土砂は、干潟を造成する材料として適用可能であることが確認されました。
  - ・ 課題として、波高の高い海域における干潟の長期安定性の確保が挙げられております。
- ・ 生物多様性に配慮し、埋立てによる海域環境への負荷軽減を図るため、令和元年度から、西部地区において、浅場造成に向けた調査を進めてまいります。

##### (調査箇所)



